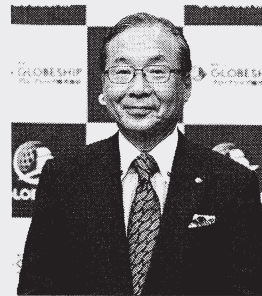


「企業でのDX導入の考え方」

グローブシップ㈱は11月1日、「第6回お取引先Webセミナー」のオンライン配信を開始した。同セミナーは、年に一度、同社が取引先企業を対象に行っているもの。今年のセミナーは、コロナ禍がまだ収束していないことから、昨年引き続きオンライン形式での開催となった。セミナーは「企業でのDX導入の考え方」と題し、11月28日までの期間限定で配信された。

グローブシップWebセミナー

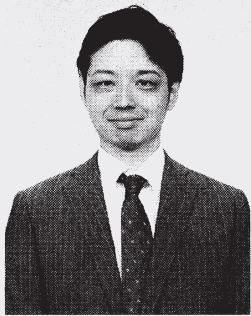


矢口敏和社長

セミナー開催にあたり、同社矢口敏和代表取締役社長は「現在、

勝ちパターン創り出すDX

Webセミナーは二部構成で行われ、第一部では三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)デジタルトランスフォーメーション推進部の河合一憲部長が「人間中心のDXの考え方とDX推進のポイント」と題する講演を行った。



河合一憲氏

「ヒトが動く、ヒトが感じる、ヒトが考える、こうしたことがなくなることとは絶対ない。ヒトとデジタルをいかに組み合わせる新しいことをやってみようか」ということが重要だ」として、「DXは『いいモノをつくらせている』で終わらせず、先入観を持つことなく企業やその活動の価値を見極めるためのツールだ。価値観は常に化する。業界の中の古い慣習などにとらわれず、新しい価値や領域の開拓に向けて、常に努力していくことが大切だ」と述べた。

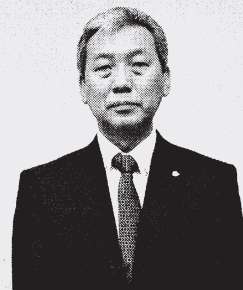
人とロボットが協働で作業

第一部では、グローブシップ(株)執行役員 諸橋勝悟氏が、グローブシップにおけるDXの取り組み事例を紹介した。

現在、同社がDXの取り組みとして注力しているのが清掃ロボットの導入だ。ビルメンテナンス業務における清掃ロボットの導入は既に始まっている。紹介された事例では、ロボットには共用部廊下など、構造がシンプルな個所の清掃を実施させ、デスク周りなど構造が複雑な個所は人が実施、さらにオフィス

が的確にできるようになり、付加価値の高い業務に注力することができるようになる。今回のセミナーでは、実際の導入事例なども紹介しながら、現在大

なトレンドとなっているDXの導入について解説していきたい。このセミナーをぜひ、各社のDX導入の参考にしたい」とあいさつした。



諸橋勝悟氏

エリア内の通路などについては、人とロボットが協働して作業している様子などを紹介した。

「まずまず人手不足が深刻になっていく中で『よりキレイ』を効率的に実現するためにロボットは活用が不可欠。『ホコリはキワにたまる』と言われるが、キワに行く前にホコリを取ってしまおうといった発想の転換が重要だ。数年後、ロボット清掃は普通のことになっていると思う。支援先の担当者の方などを紹介した。

また、目標が曖昧で局所的な対応ばかりとなってしまう結果、コストがかかるばかりで成果が出ず頓挫してしまうなど、DX推進でありがちな失敗事例について、「DXは新しいチャンス・圧倒的な勝ちパターンを創り出す可能性を秘めたものだ。ただ、そのためにはしっかりと事前準備が必要となる。DXは短期的に効果が出るものではない。長期的に取り組むことで大きな成果につなげていくことが重要だ」と指摘した。